

新学習指導要領改訂のポイント（中学校，社会）

中学校学習指導要領解説社会編（平成20年 9月 文部科学省 3 社会科改訂の要点（2） 各分野の改訂の要点より）

〔地理的分野〕	〔歴史的分野〕	〔公民的分野〕
<p>ア 分野目標についての見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標の(1)国土認識と世界認識を学習の両輪にした。 目標の(2)地域的特色や地域の課題をとらえることをねらいにした。 	<p>ア 我が国の歴史の大きな流れの理解の一層の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の大きな流れの理解という目標の一層の明確化 <u>学習内容の構造化と焦点化</u> 中項目のねらい「〇〇などを通して，AがBであったことを理解させる。」 ・・・活用のできる基礎・基本 <u>各時代の特徴をとらえる学習</u>を加えた。 ・・・学習内容の比較，関連付け，総合 	<p>ア 現代社会の特色や，現代社会における文化の意義や影響に関する学習の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>「私たちが生きる現代社会と文化」</u>を加えた。 …現代日本の社会の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが政治や経済，国際関係などにおいてどのような影響を与えているかのかを学習する。 現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 「世界平和と人類の福祉の増大」では，国際社会における文化や宗教の多様性について指導する。
<p>イ 内容構成についての見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 現行 大項目 (1)「世界と日本の地域構成」 (2)「地域の規模に応じた調査」 (3)「世界と比べてみた日本」 新 大項目 (1)世界の様々な地域 中項目(4) (2)日本の様々な地域 中項目(4) <p><u>「地域構成」→「世界の多様性，日本全体の大観」</u> <u>→「地域の特徴」→「調べ学習」</u> (習得→活用→探究の学習過程を基軸に，学習内容，学習活動の質を段階的に深める。)</p>	<p>イ 歴史についての考察する力や説明する力の育成（言語活動の重視）</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治面などの変革の特色を考えて<u>時代の転換の様子をとらえる学習</u> 時代の区分やその移り変わりに気付く学習 思考・判断・表現する学習と確かな理解 <p>※ 「導入」と「まとめ」の学習を重視する。</p>	<p>イ 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を生かした内容構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治や経済の見方考え方の基盤となる概念的枠組みを形成するため，「対立と合意」「効率と公正」などを取り上げ，現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を養う学習を重視する。
<p>ウ 世界に関する地理的認識の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> 中教審答申「小・中学校における世界の地 	<p>ウ 近現代の学習の一層の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> 大項目を「近代」と「現代」の二つの項目 	<p>ウ 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を生かした内容構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容(1)は公民的分野の導入と位置付ける。

<p>理，歴史に関する内容の充実」が背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>国土認識と世界認識</u>を培う。 	<p>に分けた。</p> <p>(学ぶ事象(内容)の増大や詳細化を意味するのではなく、内容の一層の焦点化を図り、具体的な事例を通じて、その大きな展開をつかませる。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容(2),(3),(4)は、対立と合意、効率と公正などの見方考え方を用いて、政治、経済、国際関係に関する諸事象をとらえる。 ・ 内容(4)は、社会科のまとめとしての課題を探究する。
<p>エ <u>動態地誌的な学習</u>による国土認識の充実</p>	<p>エ 様々な<u>伝統や文化</u>の学習の重視</p>	<p>エ 社会の変化に対応した、<u>法や金融</u>などに関する学習の重視</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得を重視 ・ 事象間の関連を追究，説明する学習を通して，思考力・判断力・表現力を育成する。 ・ 日本の諸地域の特色ある事象を中核(コア)として，それを他の事象と有機的に関連付けて諸地域の地域的特色をとらえさせる。 	<p>(改正教育基本法の趣旨を受け、「身近な地域の歴史を調べる活動」を通して，伝統や文化について具体的・実感的に学習する。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任 ・ 金融の仕組みや働きを扱い，その意義や働きについて理解させる。 ・ 法によって基本的人権が保障されるという考え方を理解させる。 ・ 裁判員制度について触れる。
<p>オ 地理的技能の育成の一層の重視</p>	<p>オ 世界の歴史の扱いの充実</p>	<p>オ 課題の探究を通して<u>社会の形成に参画する態度</u>を養うことの重視(社会科の卒論)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 思考力・判断力・表現力を育成，言語力を育成するための言語活動として<u>地図を活用した学習</u>を一層重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の歴史の背景としての世界の歴史の扱いの充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会科のまとめ」という位置付け，地理的分野，歴史的分野などの学習の成果を生かし，よりよい社会の形成に主体的に臨む態度を養うこととした。 ・ 「持続可能な社会という視点から探究する学習」を行う。 ・ 社会的な事象について考えたことを説明させたり，自分の意見をまとめさせたりするなどの言語活動を充実させる。
<p>カ <u>社会参画の視点</u>を取り入れた身近な地域の調査</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が生活している地域に関する理解と関心を深めさせ，その発展に努力しようとする態度を育てる。身近な地域の調査の学習(調べ学習)で社会参画の視点を重視する。 		

